



虫歯について

視診とレントゲン写真において、現在治療が必要な歯はありませんでした。※クリーニング後に虫歯が見つかる場合があります。

破折について

レントゲン写真にて、(●)の根が破折しています。再治療での治癒が難しい状態です。汚れがたまと腫れがでる可能性があるため清潔に保つ必要があります。固いものの食事には注意してください。

抜歯後の歯を補う処置について

破折歯に腫れや痛みが生じた場合、抜歯が必要となります。その際には歯を補う処置が必要となります。以下の処置が選択できます。

- ① **入れ歯**：保険の方法です。取り外しをするものです。違和感が強く、バネが金属のため目立つのと、食事後は外して洗う必要があります。他の歯を傷つけず、すぐに作製できるメリットがあります。保険の入れ歯は少なくとも2年に1度は新しく作る事を推奨します。バネが見えづらく違和感の少ない自費の入れ歯もあります。
- ② **インプラント**：保険外の方法です。人工の歯根を骨に植え込む方法のため、ブラッシング可能で他の歯も傷つけません。メリットが多いですが、自費治療のため非常に高額になることと、根元が炎症を起こしやすいため、定期的にメンテナンスを受ける必要があります。また、上の奥歯のインプラントは事前に骨を増やす手術が必要となる場合があります。

※インプラント治療を早期にお考えの場合、骨の吸収を防ぐために破折歯の早期抜歯が必要となる場合があります。

古い被せ物について

(□)は被せ物が古くなっています。虫歯ではないため治療必須ではありませんが、被せなおしをする事で清掃しやすくなり、歯周病予防や虫歯予防にもつながります。ご希望がありましたら再治療をしていきます。

歯周病について

レントゲン写真上で歯石の付着が認められます。歯周病が進行している可能性があります。歯周病の原因は歯ブラシが効率よく全体に届いていない事、歯ぎしり、食いしばりがある事、また、歯周病を引き起こす細菌が歯石となり歯肉に炎症を引き起こしている事、等が挙げられます。歯周病が進むと歯を支える骨が減り、歯が揺れ始めます。また、簡単に歯茎から出血する環境になり、口の中の細菌が血管の中から全身に回り、糖尿病の悪化や高血圧、心筋梗塞や認知症等の病気の原因につながります。まずは口全体の歯周病検査をし、しっかりと歯周病治療を行うことが重要と思われれます。歯周病は骨が減ってしまう病気であり、一度減った骨は戻すことができません。歯周病治療とは歯周病を治す事ではなく、進行を遅らせる治療です。

歯の摩耗について

前歯を中心に歯の摩耗がみられます。歯ぎしりや食いしばりが原因と考えられます。歯ぎしりは知覚過敏、歯の破折、詰め物の脱離や破折、歯周病の悪化の原因となるため、夜間に強い歯ぎしりをされているようでしたら歯ぎしり予防のマウスピースの作製を推奨します。保険診療にて約3000円で作製可能です。

虫歯・歯周病予防のために

歯石と歯垢(プラーク)は、細菌の塊であり、歯と歯肉周囲組織を破壊して虫歯と歯周病を進行させます。このため、定期的なクリーニングと、適切なブラッシングをする事が重要です。ご希望がありましたらお口の中の汚れを染め出しして、ブラッシングの御説明もさせていただきます。また、少なくとも1年に3~4回、衛生士によるクリーニングを行なうことを推奨します。

治療期間と費用について (保険治療での概算)

全ての治療をご希望ですと2回程回数がかかります。破折歯の治療、古い冠の被せなおし治療、マウスピース作製は計画外です。

(クリーニング1回+ブラッシング説明と再クリーニング1回)

治療費は合計約5000円程度がかかります。(詰め物の種類や計画の変更により変動します。)

※虫歯や歯周病を放置すると、治療期間が伸び、治療費も高くなります。早期治療が重要です。